

エンジニアパーク

# Engineer Ring Park

私は高速道路の建設・管理を行う東日本高速道路株式会社(NEXCO)に勤務し25年目を迎え、現在は北海道エリアを管轄する部署に配属されています。

平成17年に民営化され株式会社となりましたが、高速道路のプロ集団という意識や情熱など変えてはならないものは継続しながら、民間企業として高速道路を使っただけでなく全てのお客様に安全・快適・便利な道路環境を提供することを大きな目標として日々奮闘中です。

これまで私は関東や静岡地域を中心に高速道路の建設に永く従事し、北海道で仕事する機会は今回が初めてで、担当業務も管理部門でかつ雪氷対策に関するマネジメントと初めての業務でした。

業務を進めると北海道の冬の厳しさが本州の比ではなく、24時間高速道路を守るため、雪氷作業を行う現場の職員の職場環境がいかに厳しいものかを実感しており、少しでも効率化し作業環境が改善され安全に業務を行えるよう、試行錯誤しながら様々な取り組みを進めています。

どんな仕事もそうですが、一つのことを成し遂げるには一緒に仕事していただいている同僚や先輩など様々な方の力を結集させなければ、良いものはできないと思っています。また、その力を結集するには現場の実態に合った正しい方向であることも重要です。

これまで蓄積したノウハウや支えてくれている周りの人達の貴重な意見に耳を傾けながら、今後も現場の実態やニーズに合った仕事を行うとともに技術士として品位を汚さぬよう日々仕事に従事していきます。

**森脇 豊一** (もりわき とよかず)

●建設部門(道路)

勤務先

東日本高速道路株式会社



→次号は、伊木千絵美さん(建設部門)

私は、高校までを旭川市で過ごし、1997年(平成9年)に北見工業大学土木開発工学科を卒業すると同時に、建設コンサルタントという業態も分からない未熟な状態で現会社に入社して、17年が経過しました。

大学では雪氷系の研究室に所属していましたが、自然環境調査を行う部署に配属となり3年間ほど川で投網を投げたりしておりました。その後、河川の計画・設計等を行う部署に異動し、河川整備計画立案や浸水想定区域図作成等に浅く広く携わってきました。ここ数年はGISやデータベースなどを整備する情報系部門の業務にも携わっています。技術者として寄り道ばかりでなかなか専門性が高まりませんが、時々過去に携わった業務経験を応用する機会があるので技術士としてはそう間違った道ではないのかもとも思います。

技術士補は平成12年度、技術士(建設部門)は、平成21年度に[河川、砂防及び海岸・海洋]分野で取得しました。建設コンサルタント会社に従事する者として、日々の業務経験さえ積んでいけば技術士は自然と取れるものだろうという軽い気持ちで受験し続けましたが、毎回建設一般(五肢択一)が合格ラインに達せず、結局5度目の試験でようやく合格の吉報を受け取る事ができました。平成19年に試験制度が変更とならなければ、いまだに苦しんでいたのかもしれない。

こんな私が合格出来たのは、社内外の先輩技術士による叱咤激励、企業を超えた有志一同による各種勉強会に参加させて頂いたおかげだと考えています。これからもゆっくり地道に自己研鑽していき、技術をもって社会に貢献していきたいと思っておりますので、皆さまご指導の程よろしく御願いたします。

**香川 誠** (かがわ まこと)

●建設部門

勤務先

和光技研株式会社



→次号は、鈴木雅人さん(建設部門)